

令和6・7年度始良・伊佐地区研究協力校「学力向上」
 令和5・6・7年度 始良市研究協力校「学力向上」
始良市立三船小学校研究公開
 (令和8年2月6日公開)

1 研究主題

文章を正確に理解し、自分の思いや考えをもつことができる児童の育成
 ～螺旋的・反復的な指導を通して～

《目指す児童の姿》

- ① 「何が書かれているか」「何が問われているか」を読み取ることができる児童
- ② 国語用語を身に付けている児童
- ③ 学んだことを生かして読み、自分の思いや考えをもつことができる児童

2 研究発表

全体会Iでは、研修係の岩永浩文教諭が研究発表を行いました。三船小学校では、学力調査や児童アンケートを通して、児童の学びの様子を見つめ直しました。その中で、文章を読むことに苦手意識をもつ児童が多いことや語句の理解や段落の捉え方といった読むことの基礎的な力に課題が見られることが明らかになりました。このような実態を出発点に、「系統性のある読みの指導」と「共通実践の明確化」を柱として、国語科を中心に全校で方向性を共有しながら、授業改善に取り組んできました。



【研修係による研究発表】

研究内容および具体的な取組は、以下のとおりです。

(1) 系統性を意識した螺旋的・反復的な指導

- ・ 学年をまたいだ「読むこと」の系統表の作成
- ・ 「読みの視点」を明確にした授業づくり

(2) 児童の実態を踏まえた授業改善

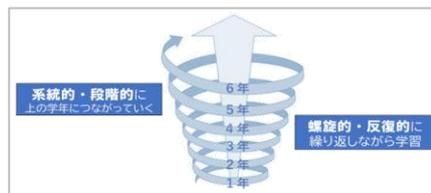
- ・ 読むことへの苦手意識、語句理解・段落把握等のつまずき、「読むのが面倒くさい」意識への対応
- ・ 単元の目標と実態を結び付けた授業設計

(3) 共通実践の明確化

- ・ 印をつけながら読む（本文に根拠を見つけて読む習慣づくり）
- ・ 国語用語の活用（読みの視点、既習内容の活用）
- ・ 三船ペンタゴンによる振り返り（学んだことの実感、学び方の積み重ね）
- ・ 学び方の選択（一人・ペア・グループ 等）
- ・ ドリルパークの活用（基礎・基本の定着）

(4) 学び合う研修の推進（提供授業型）

- ・ 「児童の学び」に着目した研究協議
- ・ 「一人一授業」による全員参加型の授業改善
- ・ 教員同士が学び合う文化の醸成
- ・ 課題と方向性の共有



研究授業型(従来の)	提供授業型(本研究)
● 教師の教え方の検討	● 児童の学びの省察
● 主に授業者に向けられる良い点、悪い点の指摘 代案の提示	● 主に児童の姿から見られる学びの共有、課題の共有
● 授業者のスキルアップ (授業者の指導法改善)	● 参観者の見るトレーニング (参観者全員の指導法改善)
視点	内容
目的	目的

3 公開授業

《第1学年》

くらべてよもう「どうぶつの赤ちゃん」

1年生の授業では、「カンガルーの赤ちゃんは、ライオンやしまうまの赤ちゃんはどこかにいて、どこがちがうのだろうか」という学習問題のもと、比べ読みを通して考えを深めました。

前時までに6つの観点に着目して色分けする共通実践を積み重ねており、本時は色別の線に着目しながら、自分の考えをワークシートにまとめました。それをペアやグループで伝え合い、根拠を明確にしながら学びを広げる姿が見られました。また、「必ず取り組む観点」と「チャレンジ観点」を設定することで、児童が学び方を選択できるよう工夫されていました。まとめでは「三船トライアングル」を活用して学びを振り返り、分かったこと・できたことについて言語化したことを自信をもって発表する児童の姿が印象的でした。



【公開授業（1年）の様子】

《第6学年》

筆者の考えを読み取り、テーマについて考えを述べ合おう「考えるとは」

6年生の授業では、「筆者が『考える』をどのようにとらえ、それを伝えるためにどのような工夫をして文章を書いているのだろうか」という学習問題のもと、筆者の主張や事例、表現の工夫に着目しながら、文章の特徴について考えました。

児童は、前時の学習を振り返り、筆者が伝えたいことや文章の工夫・特徴について主張と事例に線を引きながら、考えを整理していました。学習形態は、一人で進めるかペアで進めるかを選択し、必要に応じて友達と相談しながら読みを深めていました。ヒントカードも活用し、表現の工夫について主体的に考える姿が見られました。振り返りでは、「三船ペンタゴン」の視点で本時の学びや自分の考えを整理するとともに、友達の考えについてコメントするなど、積極的に交流する姿が見られました。



【公開授業（6年）の様子】

4 分科会

分科会では、ワークショップ型による研究協議を行いました。研究内容や公開授業について児童の姿をもとに「成果」や「課題」、「改善策」等について、活発な意見交換が行われました。

なお、参加者の意見・感想の一部を下記に記載します。



【分科会（6年）の様子】

《参加者の感想から》

- 公開授業について
 - ・ 学習者主体の学びができていた。読解では、大切な箇所にしっかりラインを引いていて感心した。タブレット端末の活用も参考になった。
 - ・ 自分の考えを説明するために、根拠となる大事な言葉や文を本文から意欲的に見つける姿が見られた。
- 分科会（授業研究について）
 - ・ 課題について、グループで考えることができた。他の学校の実践事項を知ることができた。
 - ・ ファシリテーターをしっかりと立ててくださったこと、授業研究の視点を明確に示してくださったことで、参加者全員が多くの意見を述べる事ができた。